

【ワーケーションモニターツアーのご案内】



NBCが提案するワーケーション

約500社の会員でネットワークを構築し、企業の成長だけでなく、持続可能な地域社会（SDGs）作りに会員と協同で活動する

現在ワーケーションには様々な型が存在し、これが「ワーケーション」であるという概念がない。リフレッシュに重きを置くも、ワークに重きを置くも人それぞれの考え方で異なるが、現在、ワーケーションは個人レベルにまで普及しない様々な課題を抱えている。

- ①労働時間の管理：テレワーク以上に、公私の線引きが曖昧になりやすい環境であること
- ②業務内容・成果の把握：稼働時間の管理が難しい以上、社員の実施した業務内容や成果の把握も困難なこと
- ③他社員の目：ただ遊びに行っているだけと思われる可能性がある



今回は上記のような、ワーケーションを企業に取り入れる上での基礎的な課題を解決する方法や、ワーケーション先での体験型研修を通じて、企業間交流の促進を図ります。

会場：広島県庄原市

西日本の市町村の中でも最も広い面積を持つ市。
森林面積を広く、国定公園を有する緑豊かな地域。
里山文化を今に残し、都市部の喧騒から離れることができる落ち着いた、懐かしい田舎の風景が広がる。



体験学習テーマ：SDG s

経営者や一部社員はSDGsを推進したいが、具体的手法や進め方が分かり難く、また座学のみでは理解が薄いという課題があります。

ワーケーション中の体験型研修を通じてSDG s に対する学びを得て帰ります。



《「庄原ワーケーション」全3回のプログラムパッケージ》

第1回

12/9(木)

~
12/12(日)

**「道の駅たかの」および「高野地域」の課題を資源に変える発想の転換を実践し
その過程で、自分の職場の課題を資源に変える方法や明日からのチャレンジを見出す**

地域の課題や地域事業者の声を聞いた上でこれからの地域の産業発展に向けた提案を行います。地域の複雑な課題に取り組むことで、課題の構造化、文理融合での解決策立案を体験します。また、自身や企業の課題の整理にも繋げ、課題解決に努めます。

第2回

1/13(木)

~
1/16(日)

森林の荒廃を食い止め、持続可能な生態系を持続させるにはどうすればよいか、庄原の森林での体験等を通じて、ともに考え、取り組むことを目的とする

限りある資源の有効活用による循環型社会の形成と自然環境保全意識の醸成を図ります。「木育」の観点でのプログラム（例：木工体験でテレワークやワーケーションで利用可能なPCスタンドやスマホスタンド等を製作）も実施し、人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育みます。

第3回

1/27(木)

~
1/30(日)

100年続く企業「ヤマモトロックマシン」の見学等を通し、個人の能力upを目指す

「変化を繰り返し、社員と企業は成長する 本来、全ての人材は、クリエイティブである」第一回は石頭（クリエイティビティを阻害しているものの総称）をぶっ壊し、参加者が自分自身のクリエイティビティに気づき、引き出していくイノベティブ人材育成研修です。LEGOやバーチャル・ボード等を用いたワークを通じてヤマモトロックマシン様のクリエイティビティの秘密を探ります。

全3回とも
異業種交流を実施

17 パートナースHIPで
目標を達成しよう



8 働きがいも
経済成長も



11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
適応する



15 陸の豊かさも
守ろう



*日程は全て予定です。変更になる場合があります。